

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 木・3	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	生体の構造(英語で読む分子生物学:ノーベル賞受賞講演から) Structural and Molecular Biology (Molecular Biology Course: from Nobel award lectures)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室 302番教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人間科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 担当教員: 松山俊文 / Eメールアドレス: tosim@net.nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 医学部基礎研究棟 5階 504号室 / オフィスパワー: 17:00-18:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 分子生物学とは、生命現象を分子の言葉で記述する学問である。ノーベル生理学・医学賞や化学賞はそこで生まれた数々の発見のうち歴史的転機となったものに与えられて来た。この授業では、ノーベル賞受賞講演を聞きながらステップバイステップで分子生物学の根本原理を解説することで分子生物学への理解を深めてもらうことを目標とする。 もう一つのねらいは受験英語からの脱却である。講演のトランスクリプト、及び自習課題の英文和訳の作成を通して、日本語として通じ難い逐語訳ではなく、自らの持つ日本語で訳出出来るようにする。 授業方法: ノーベル賞記念財団が提供する2006年度の受賞講演のビデオ、スライド、ビデオから作成するトランスクリプトを用いながら講演内容、および分子生物学の基礎知識の解説を行う。 授業到達目標: 基本的な分子生物学の概念、用語を説明できる。 英文を自らの言葉で訳出することが出来る。 科学英語講演に直に触れてそれを理解し、自らのものにする。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(受賞記念講演の視聴、トランスクリプトを用いた講演内容の解釈、周辺知識の解説) 第1回 オリエンテーション、 第2回 基礎的背景、受賞講演 第3回 受賞講演の視聴と解説 第4回 受賞講演の視聴と解説 第5回 受賞講演の視聴と解説 第6回 受賞講演の視聴と解説 第7回 受賞講演の視聴と解説 第8回 受賞講演の視聴と解説 第9回 自習(課題英文の訳出) 第10回 受賞講演の視聴と解説 第11回 受賞講演の視聴と解説 第12回 受賞講演の視聴と解説 第13回 受賞講演の視聴と解説 第14回 受賞講演の視聴と解説 第15回 講演の聞き取り試験、及び周辺知識の筆記試験			
キーワード	科学英語講演、分子生物学、医学		
教科書・教材・参考書	教科書は用いず、授業計画に沿ったプリント資料を配付する。英和辞典等(電子辞書可)の持参は必要である。 参考 http://nobelprize.org/		
成績評価の方法・基準等	出席状況(2/3以上出席していること。2/3に満たないものは評価の対象としない)、自習英文(50%)、講演の聞き取り試験及び周辺知識の筆記試験成績(50%)		
受講要件(履修条件)	全学部 ただし、中学で習う生物程度の知識を有すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	分子生物学入門、応用		
備考(準備学習等)			